

札幌市内全小学校への拡大的展開を 見据えたMM教育の実践的取組み

札幌市立屯田小学校

札幌市市民まちづくり局総合交通計画部

一般社団法人北海道開発技術センター

筑波大学大学院システム情報工学研究科

北海道大学大学院工学研究院

斉藤 健一

西田 健一

岡 顕一

原 文宏

新森 紀子

大井 元揮

谷口 綾子

高野 伸栄

背景・目的

● 大半の実践事例が『出前講座形式』

- 行政側から学校側へ「交通環境学習をやらせていただきたい」と要請
- 学校側が1時間～3時間程度、授業のコマ数を確保
- 行政職員やコンサルタントが「ゲストティーチャー」として授業を実施

MM教育を札幌市の小学校全体に拡大するには、出前講座形式では限界がある。

● 大半の実践事例が『5年生』を対象

- 社会科 or 総合的な学習の時間 の中で実施

各学年でMM教育を実践することにより、効果は、より確かなものになる。

背景・目的

● MM教育に関連する団体は多様。連携が不十分。

- 関係団体：交通局・運輸局・開発局・バス協会・札幌市交通事業振興公社 等



自動車利用を抑制・公共交通の利用を拡大 を図る団体が連携を実施することで、より効果的・効率的に学校を支援可能になる

背景・目的

現状を踏まえ、5つの目標と本プロジェクトにおける実施内容を整理

目 標		実施・検討内容 等
目標①	学習指導要領と連動した学習プログラムの開発	・教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討 ・研究授業の蓄積
目標②	1年生～6年生まで、各学年におけるMM教育の実施	
目標③	教諭が主体となった授業の実施	・教諭が主体となった授業実践を実施
目標④	札幌市内小学校へのMM教育の広がり	・教諭に配布される指導書への掲載 ・webプラットフォームによる情報提供
目標⑤	関係団体等の連携体制の構築	・協働体制の構築 ・webプラットフォームによる情報共有

本プロジェクトの検討・推進体制

学識経験者

委員長:高野 准教授(北大)
谷口 講師(筑波大)

関係団体

- ・札幌地区バス協会
- ・(財)北海道環境財団
- ・「地域と教育」を元気にするフォーラム
- ・(株)アドバコム

札幌市らしい交通環境学習検討委員会



平成23年度3回



行政関係

- ・北海道運輸局(運輸行政)
- ・北海道開発局(道路行政)
- ・札幌市交通局(交通事業者)
- ・札幌市総合交通計画部(事務局)

学校関係

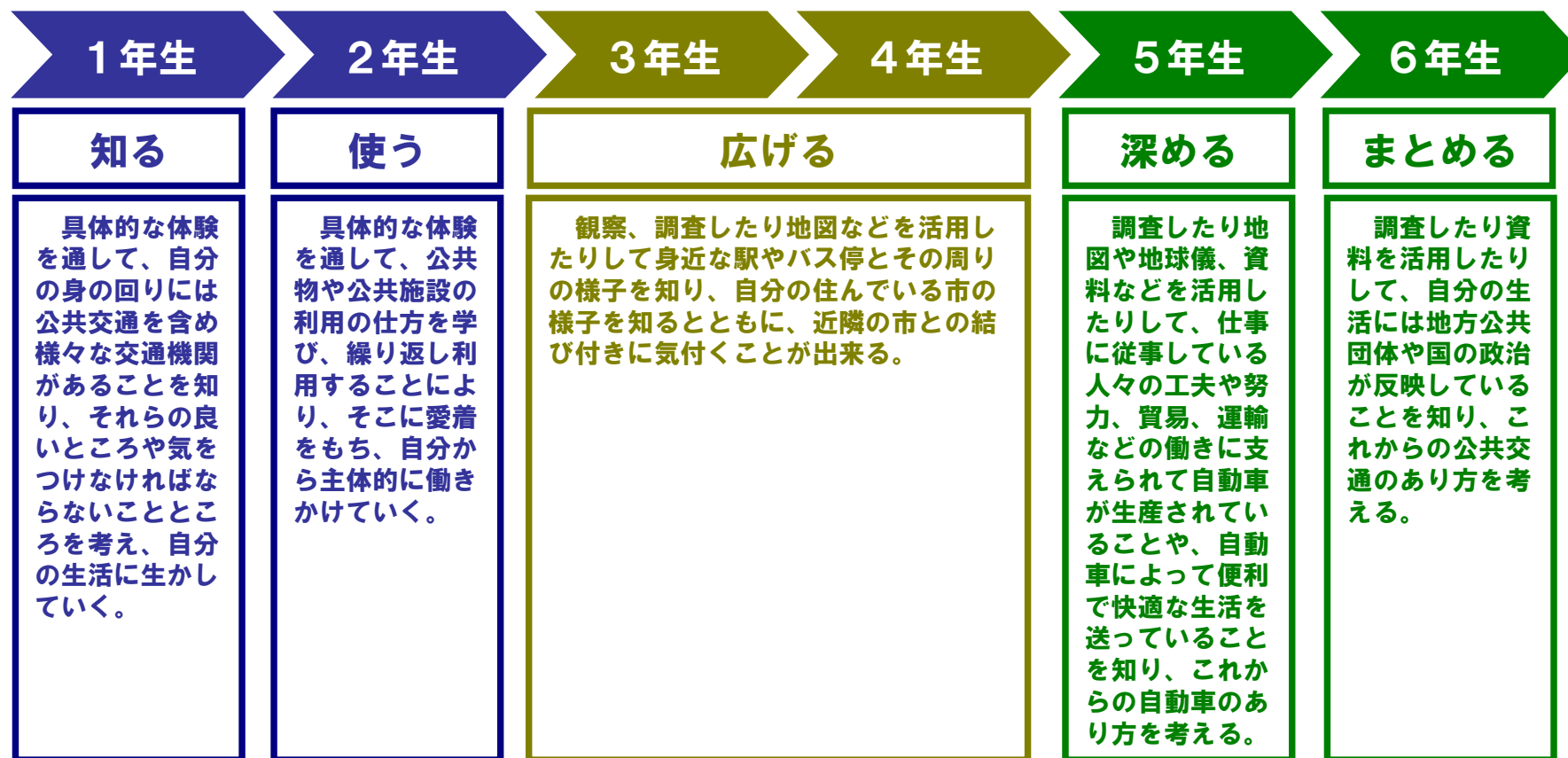
- ・札幌市教育委員会
- ・札幌市立小学校教員
(校長1名・教諭5名)

WGの設置

平成23年度2回

本プロジェクトの実施内容（学習プログラムの検討）

【教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討】



本プロジェクトの実施内容（学習プログラムの検討）

【教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討】

ワーキンググループの教諭が中心となり指導案を作成

総合的な学習の時間 指導案

児童 5年3組 31名
 指導者 教諭 教諭 正英

5年総合学習

- 単元名 「環境について」 本時9/15
- 種かな学びを生かす教材化について
 ○考える課題を構やす単元構成
 子どもは「地球温暖化」という言葉を聞いたことがあるが、詳しくはわかっていない。そこで、
 ①「地球温暖化」のメカニズムや自分の生活とのつながり
 ②「地球温暖化」のメカニズムや自分の生活とのつながり
 ③「地球温暖化」のメカニズムや自分の生活とのつながり
 ④「地球温暖化」のメカニズムや自分の生活とのつながり
 ⑤「地球温暖化」のメカニズムや自分の生活とのつながり
- 本時のねらい
 ①自分の生活の環境点と札幌市の環境点とを比べて自分や家族の生活の改善点を考えるとき、これからの公共交通のありかへの関心を高める。
- 本時の展開

子どもの意識と学習活動	教師のかかわり
<p>前時までの子どもの姿 京都府定員の数割目標を達成するためのCO₂を15%減らさなければならぬことから、自分の生活を省みている。</p> <p>○自分の生活の振り返り</p> <p>テレビを見る時間 車での友達の家に遊びに行く 近所へ買い物に行く</p> <p>○札幌市の現状を見てみよう</p> <p>1,500 移動時間帯別の交通量の変化</p> <p>10分以内の車の移動が急増している</p> <p>CO₂の排出量を減らすためにどうしたらいいのかな</p> <p>自分歩く お父さん自転車を使う 自分自転車を使う 自分バスを使う 自分バスを使う</p> <p>車の利用者ちょっと控えるだけでいいふんとCO₂を減らすことができそうだ</p> <p>車に降りすぎること環境以外にも困ったことが起こりそうだね</p>	<p>○テレビを1時間見ないよりも車を5分使用しない方がはるかに効果があることから交通行動に焦点化していく。</p> <p>○札幌市の車の使われ方のグラフから問いを生む</p> <p>○誰がどのように行動を変えればいいのか、その可能性はどれくらいあるのかを知りたい。</p> <p>○新聞記事を提示し、これからの公共交通を考えるきっかけにする。</p>

学習展開

(1) 目標
 ・バス路線の多さの背景を探ることで、札幌市に住む様々な立場の人がそれぞれ異なる目的をもってバスを利用することができるというバスの高さに気付くことができる。

(2) 展開 (6/8時間)

① 札幌市・札幌市の発展
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

② 3年社会科「もっと知りたいみんなのまち」
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

③ 6年社会科「政治」
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

④ 4年社会科「雪とくらす」
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

⑤ 便利
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

札幌らしさを生かした指導案展開

各道が引き起こす課題から、除雪費に対する市民と市役所とのかかわりについて考える授業

中継発表	雪とくらす	5/15時間	1/2月
札幌市	札幌市	札幌市	札幌市

① 札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

② 4年社会科「雪とくらす」
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

③ 6年社会科「政治」
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

④ 便利
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

6年政治単元におけるMM教育の可能性を探る

- 札幌市「おたのしみ」を目標とする
- 政治単元のキーワード「国際社会の安全と平和」をキーワードとして、持続可能な発展、向上、【交通手段の選択】「行政、交通事業者、市民の役割」の観点から考える。
- 政治単元のキーワード「国際社会の安全と平和」をキーワードとして、持続可能な発展、向上、【交通手段の選択】「行政、交通事業者、市民の役割」の観点から考える。
- 政治単元のキーワード「国際社会の安全と平和」をキーワードとして、持続可能な発展、向上、【交通手段の選択】「行政、交通事業者、市民の役割」の観点から考える。
- 政治単元のキーワード「国際社会の安全と平和」をキーワードとして、持続可能な発展、向上、【交通手段の選択】「行政、交通事業者、市民の役割」の観点から考える。

6年社会科「政治」

「前時までに、市民の役割を説明するなどの政治の仕組みについて学んでいる。

○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史
 ○札幌市の発展の歴史

本プロジェクトの実施内容（教諭が主体となった授業実践を実施）

【教諭が主体となった授業実践を実施】

- ・ 実施日：平成24年2月8日（水）5時間目
- ・ 実施校：札幌市立屯田小学校
- ・ 対象学年：5年生（1クラス）
- ・ 授業者：齊藤 健一
- ・ 教科：社会科
- ・ 単元：「くらしを支える情報～情報ネットワークを生かす～」



本プロジェクトの実施内容（教諭が主体となった授業実践を実施）

＜単元の目標・活動の構成＞

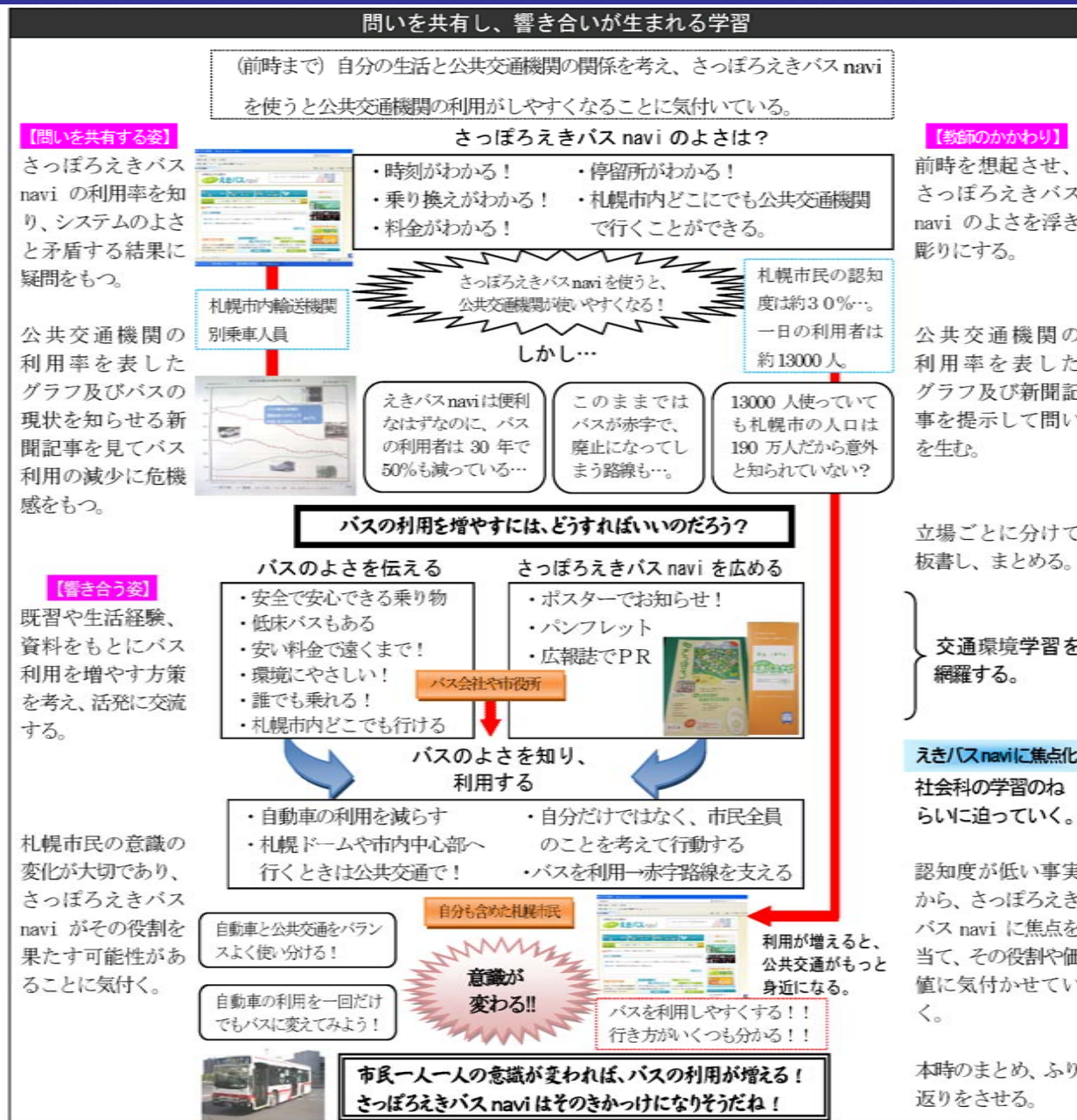
公共交通 社会 5年1組 斉藤 健一 暮らしを支える情報

○自分たちの生活と情報とのかかわりに関心を持ち、意欲的に調べている。（関心・意欲・態度） ○国民生活と情報化した社会とのかかわりについて考え、わかりやすく表現している。（思考・判断・表現）

○資料やインターネットを活用して必要な情報を集め、それを読み取り、ノートやレポートにまとめている。（技能） ○情報ネットワークが国民生活を向上させていることやそれらを有効に活用することの大切さを理解している。（知識・理解）

	1	2・3	4・5	6	7 (校内研究授業)	8・9	10 (本時)	11・12・13				
目標	自分たちの生活と情報とのかかわりに関心を持ち、意欲的に調べたり、考えたりする。	国民生活とテレビ放送とのかかわりについて考え、意欲的に調べたり、表現したりする。	国民生活と新聞報道とのかかわりについて考え、意欲的に調べたり、表現したりする。	情報ネットワークに関心を持ち、その働きが公共サービスの向上にどのように利用されているかを考え、適切に表現する。	情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることがわかる。	情報ネットワークの働きが公共交通機関の利用促進に役立っていることがわかる。	さっぽろえきバスnaviを通して、情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることがわかる。	情報の有効な活用が大切であることに気づき、情報ネットワークの長所や短所をわかりやすく表現している。				
学習展開	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ◆オリエンテーション◆ 暮らしを支える情報とは？ ○単元名から学習を想起 ○国語辞典を使って調べる ↓ 情報を得る手段は？ ・テレビ・新聞・ラジオ ・インターネット・雑誌 ・携帯電話 どんな情報を得ているの？ ・ニュース ・天気予報 ・品物の情報 など 情報を伝える手段の歴史は？ 昔 → のろし&使者 江戸時代 → 飛脚 明治時代 → 電話 現代 → さまざまな手段がある ↓ 現々の情報は大量に速く正確に伝わる！			◆情報化と医療①◆ 医療とインターネットとはどのような関係があるのだろうか？ ★遠隔医療★ ○直接病院に行かなくても、診断や指示ができる。 ○離島や山間部の人も高度な医療を受けられる。 ★電子カルテ★ ○総合病院と診療所で情報を共有できる。 ↓ 画期的なシステムだ！ 平等に同じ医療を受けられる。 生活が楽になっている！			◆情報化と公共交通①&②◆ 公共交通機関って何だろう？ 自分たちもあまりバスには乗らない… 通勤や通学にバスは便利だ！ 自分たちもバスnaviを使ってみよう！			◆情報化と公共交通③◆ バスの利用を増やすにはどうすればいいのだろうか？ 自動車の利用を減らす バスのよさを知る さっぽろえきバスnaviを広める さっぽろえきバスnaviを一人でも多くの市民が知ると？ ↓ 意識が変わる！ バスに乗ってみよう！ さっぽろえきバスnaviを広めることで、公共交通機関が利用しやすくなり、市民の意識が変われば、バス利用が増える！		
子どもの姿	【問いを共有する姿】 ◇自分の生活と情報とのかかわりに関心をもつ。 ◇情報を伝える手段の歴史に関心をもつ。 【響き合う姿】 ◆自分の生活がたくさんの情報によって支えられていることに気づき、心をふるわせる。	◆テレビ放送◆ テレビのニュースはどのように制作されているのだろうか？ 情報を集める → 情報を選ぶ → 一つになって情報を伝える 「より速く・正確に・わかりやすく」わたしたちのくらしはテレビ放送によってどのような影響を受けているのかな？ 世界中の情報を知る！ 買いたい物を決める！	◆新聞報道◆ 新聞はどのようにして作られているのだろうか？ 取材 → 制作 → 印刷 → 送信 → 配達して… 「速く・正確に・わかりやすく」わたしたちのくらしは新聞報道によってどのような影響を受けているのかな？ 多くの出来事を知る！ 幅広い情報を得る！ 読んで考える 人の考えを知る	◆情報化と医療②◆ I Ticket システムって何だろう？ 病院にも患者さんにもメリットがあって、日本人の健康を守る役割も果たしている！	◆情報化と医療③◆ I Ticket システムの社会的役割は？ 病院と患者さんをつなぐ！ 病院に行きやすくなる！ 日本人の健康を守る役割もある！	◆情報化と公共交通①◆ 公共交通機関って何だろう？ バス、地下鉄、JR・市電 最近バスに乗りました？(褒め) バスにはメリットとデメリットがある バスがもっと利用しやすくなるかな？ 行き先までの乗り換えが楽！ 時間や料金が上がる	◆情報化と公共交通②◆ さっぽろえきバスnavi さっぽろえきバスnaviを使うと、公共交通機関が利用しやすくなるね！	◆情報の活用◆ たくさんの情報を使いこなすにはどのようにすればいいのだろうか？ インターネット（PC/携帯）【よい点】 ○メールで遠くの人と交流 ○画像や音声を取り出せる ○いつでもどこでも使える ○手軽に買い物ができる 【悪い点】 ●トラブルや犯罪 ●コンピュータウイルス ●誹謗・中傷 ※個人情報 ※報道被害 ※ネットケット } を知る 情報ネットワークのよい点と悪い点をしっかり考えながら使うことが大切だね！				
板書計画等	2/13 【ニュースの制作】 授業後板書			5/13 【新聞の役割】 授業後板書			7/13 【情報化と医療】 授業後板書			「本時で使う主な資料」		

本プロジェクトの実施内容（教諭が主体となった授業実践を実施）



立場ごとに分けて板書し、まとめる。

交通環境学習を網羅する。

えきバス navi に焦点化
社会科の学習のねらいに迫っていく。

認知度が低い事実から、さっぽろえきバス navi に焦点を当て、その役割や価値に気付かせていく。

本時のまとめ、ふり返りをさせる。

本プロジェクトの実施内容（教諭が主体となった授業実践を実施）

授業実施前の児童の生活・意識

- 校区は最寄りの地下鉄駅までクルマで10分の距離
- 大半の家庭でクルマに依存した生活

どのバスに
乗っていいか
分からない

バスの時刻
を調べるの
が大変！



出発地	到着地	運賃	所要時間	詳細
毛田小学校(中央バス)	道生(N01)地下鉄	400円(約) 12分		詳細
毛田小学校(中央バス)	道生(N01)地下鉄	200円(約) 10分		詳細
毛田小学校(中央バス)	道生(N01)地下鉄	400円(約) 14分		詳細

経路・時刻・運賃
等の情報の検索が可能

【札幌周辺公共交通案内サイト】

本プロジェクトの実施内容（指導書への掲載）

【教諭に配布される指導書への掲載】

【目的】

- MM教育を出前講座形式ではなく、教諭主体で実施する
- MM教育を札幌市小学校全体に広める

【方法】

- H27年度の改定に合わせ、H23～25年度に研究授業を数多く実践し、カリキュラム構築

【留意点】

- MM教育を広めるために、「誰でも実施可能なカリキュラム構築」を実施。

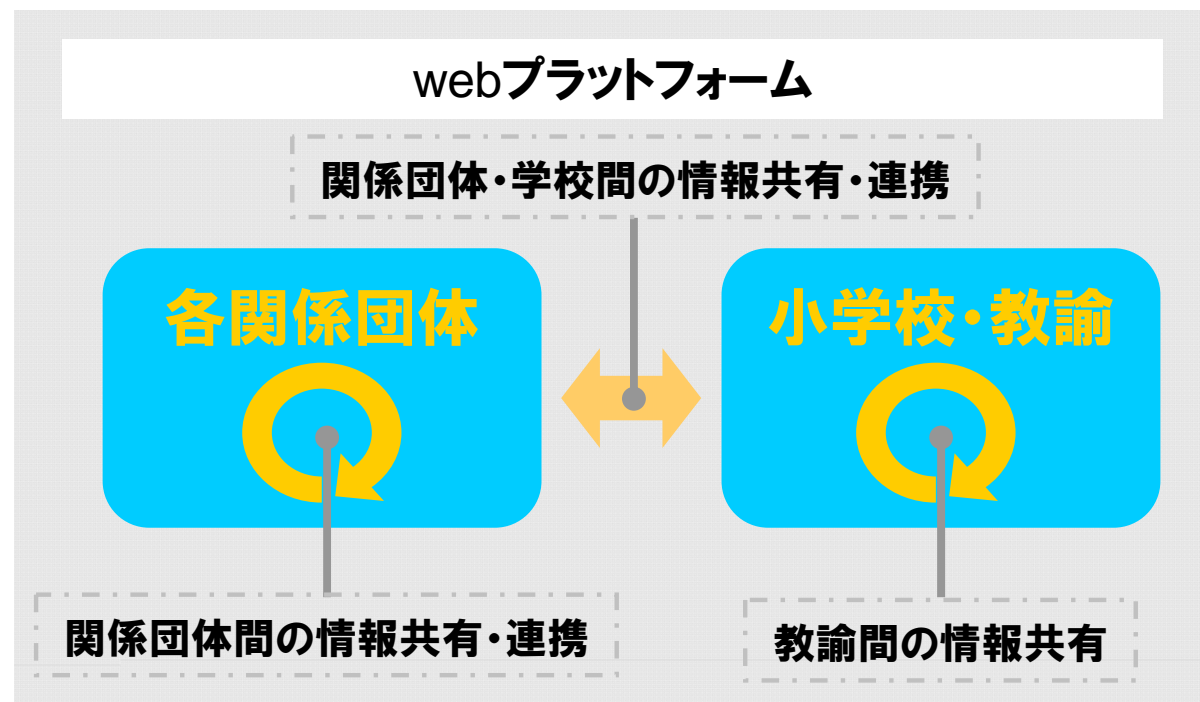


本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

【webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築】

【目的】

- 学校・教諭への授業に用いるツール等の提供
- 関係者間・教諭間・関係者-教諭間の情報共有・連携
- 交通環境学習の認知度・必要性の向上



本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

Mobility Management

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

ご利用ガイド | サイトマップ | お問い合わせ

ようこそ！ shinmori さん | ログアウトはこちら |

関係団体から | 学校から | 資料室 | MMブログ | フォーラム

このテーマファイルは、デザイン確認用のテスト版です。

新着情報

- 2011-12-19 16:19 公開授業のお知らせ (学校からのお知らせ)
- 2011-12-15 16:30 第2回札幌らしい交通環境学習・検討会 (関係団体からのお知らせ)
- 2011-12-15 14:04 第2回ワーキングのご案内 (関係団体からのお知らせ)
- 2011-12-9 22:01 出前講座について (関係団体からのお知らせ)
- 2011-12-9 22:00 公共交通利用促進イベントの開催について (関係団体からのお知らせ)
- 2011-12-9 21:49 出前講座パンフレット (資料室)

モビリティ・マネジメント

モビリティ・マネジメント教育とは、私たち一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育てることを目指した教育活動を意味します。

札幌は年間降雪量が6mlにも達する積雪寒冷地でありながら人口190万人を超える、世界にも類を見ない都市であり、公共交通機関はなくてはならない存在です。自動車や公共交通機関を「かしこく」使い分けられる大人になるうえで、小学生が「環境」、「雪」という観点からこの公共交通機関の重要性を学ぶことは大変有意義なことです。

このサイトは、札幌独自のモビリティ・マネジメント教育に向けて、学校教育と自治体や交通機関などの関係者が積極的な人と情報のネットワークを結ぶことを目的として運営されています。

最新ニュース

その他：第2回札幌らしい交通環境学習・検討会

投稿者：shinmori 投稿日時：2011-12-15 16:30:05 (0 ヒット)

第2回札幌らしい交通環境学習・検討会のご案内

日時：2011年12月26日(月)14-16時
場所：社団法人北海道開発技術センター9F会議室

第2回検討会を開催いたします。
年の瀬開催です。
おそれいりますが、皆様どうぞよろしくお願いたします。

0コメント

<関係団体>
 ・関係団体からのお知らせ:自治体, 交通事業者, 事務局からの情報を掲載します。
 <学校から>
 ・学校からのお知らせ:教育機関からの情報を掲載します。

<フォーラム>
 ・特定テーマについての意見交換を行います。関係者間で、意見交換を行う機能です。掲示板のような機能です。

<MMブログ>
 ・一般的なブログです。動向等について発信します。

<資料室>
 ・指導案や関係イベントの広報資料, MM教材等をアップロードし、ユーザーがダウンロードできる機能です。

【ニュース投稿】
 ・学校や関連団体のお知らせなど新規投稿された記事が反映されます。

本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

● webページの掲載内容【関係団体からの情報】

関係機関	内容
北海道運輸局	過年度の交通エコロジー教室実績
北海道開発局札幌開発建設部	過年度のMM教育実績
環境省北海道地方環境事務所	スマートムーブの取組み
アドバコム	エコチルの交通分野の記事
北海道バス協会	バスの日に関わる取組み
北海道環境財団	地球温暖化ふせぎ隊 等
札幌市交通事業振興公社	サタデーテーリング
	交通資料館
	子ども市営交通教室
	路面電車の日記念「クイズスタンプラリー」
	市電フェスティバル
	市営交通子ども絵画展
	なるほどマナーBOOK
北海道開発技術センター	過年度のMM教育実績 ウィンターライフ推進協議会 - 冬期間のモビリティ(転倒防止等の情報)

本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

● webページの掲載内容【本プロジェクトにおいて実施の研究授業】

- 指導案・板書案

- 授業で活用したツール

平成24年2月8日
公共 社会 5年1組 斉藤 健一 <くらしを支える情報>
~情報ネットワークを生かす~

【くらしを支える情報の単元構造】 【児童の実態と身につけさせたい力】
~自分の生活と公共生活のつながりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の上がらなれていることがわかる。社会的な思考・判断・表現/知識・理解

＜本単元の目標・活動・評価計画＞

○さっぽろえきバスnaviを通して、情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の上がらなれていることがわかる。社会的な思考・判断・表現/知識・理解

【児童の実態】
さっぽろえきバスnaviの利用率は低い。テレビ放送の利用率は高い。インターネットの利用率は低い。携帯電話の利用率は低い。

【学習のねらい】
自分自身の生活と公共生活のつながりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の上がらなれていることがわかる。社会的な思考・判断・表現/知識・理解

【活動計画】
1. さっぽろえきバスnaviの活用
2. テレビ放送の活用
3. インターネットの活用
4. 携帯電話の活用

【評価計画】
1. さっぽろえきバスnaviの活用
2. テレビ放送の活用
3. インターネットの活用
4. 携帯電話の活用

＜単元の目標・活動の構成＞

○自分たちの生活と情報とのかかわりに関心をもち、意欲的に調べている。(関心・意欲・態度) ○国民生活と情報化した社会とのかかわりについて考え、わかりやすく表現している。(思考・判断・表現)
○資料やインターネットを活用して必要な情報を集め、それらを読み取り、ノートやレポートにまとめている。(技能) ○情報ネットワークが国民生活を向上させていることやそれらを有効に活用することの大切さを理解している。(知識・理解)

単元	1	2・3	4・5	6	7 (校内研究授業)	8・9	10 (本時)	11・12・13	
目標	自分たちの生活と情報とのかかわりに関心をもち、意欲的に調べている。	国民生活とテレビ放送とのかかわりについて考え、意欲的に調べたり、表現したりする。	国民生活と新聞報道とのかかわりについて考え、意欲的に調べたり、表現したりする。	情報ネットワークに関心をもち、その働きが公共サービスの向上にどのように利用されているかを考え、意欲的に調べたり、表現したりする。	情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の良し悪しを判断していることがわかる。	情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の良し悪しを判断していることがわかる。	さっぽろえきバスnaviを通して、情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の上がらなれていることがわかる。	情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の上がらなれていることがわかる。	情報ネットワークの働きと国民生活とのかかわりについて考え、情報化の進展によって人々の生活の上がらなれていることがわかる。
学習展開	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道	情報ネットワークの仕組みを学ぶ！ ●オリエンテーション ●テレビ放送 ●新聞報道
子どもの姿	【問いを共有する】 ○自分の生活と情報とのかかわりに関心をもつ。 ○情報を伝える手段の歴史に 関心をもつ。	【問いを共有する】 ○テレビ放送のよさに関心をもつ。 ○テレビ放送が国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○新聞記事制作に関心をもつ。 ○新聞記事が国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○医療とインターネットの関係に関心をもつ。 ○医療とインターネットの関係が国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○Ticketシステムに関心をもつ。 ○Ticketシステムが国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○さっぽろえきバスnaviに関心をもつ。 ○さっぽろえきバスnaviが国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○公共交通機関の利用率に関心をもつ。 ○公共交通機関の利用率が国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○情報ネットワークの働きに関心をもつ。 ○情報ネットワークの働きが国民生活に与える影響を調べる。	【問いを共有する】 ○情報ネットワークの働きに関心をもつ。 ○情報ネットワークの働きが国民生活に与える影響を調べる。
板書計画等	2/13【ニュースの制作】 授業後板書	5/13【新聞の役割】 授業後板書	7/13【情報化と医療】 授業後板書						

本プロジェクトの成果と今後の展開

【現段階における本プロジェクトの成果】

- 地域の関係者でMM教育を推進する体制を構築。
- MM教育の新たな展開として、「情報単元」によるMM教育の可能性に一定の示唆。
- MM教育を札幌市全体へ広めるための
取組内容（指導書掲載やwebプラットフォーム）が明確化。

【今後の展開】

- 札幌市の社会科教育の指導書への掲載を目指し、より研究授業を
実践する取組が必要
- MM教育をより多くの教諭・学校に認知いただくことも必要と
考えられ、webプラットフォーム整備による情報提供や教諭を
対象としたMM教育セミナー等を開催したい